科目名	英語コミュニケーションⅢ (看護英会話応用) Communication in English Ⅲ		担当教員 (研究室番号)	ドライデン いづみ (502)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	2年次 前期	科目 区分	教養・基礎科目		選択 区分	選択	単位数 (時間)	1(30)	授業 形態	演習	科目等 履修生	可
										オープンクラス	可	
科目 目的	グローバル時代において病院等の医療機関で求められる英語コミュニケーション能力の必要性を理解し、国際社会において1人の人間として、或いはプロの看護師・医療従事者としての在り方、患者や患者の家族への対応・コミュニケーション方法・看護・医療英語表現を様々な視点からの確に判断できるようにする。											
ディプロマ・ポリシー (DP)	主要なDP	C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。(技能・表現)										
	関連するDP	A 人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観に基づいて行動することができる。(姿勢・態度) B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解)										
到達目標	1. 医療現場で起こりうる状況に合わせて様々な会話やコミュニケーションの方法を学び、自らの考えやイメージを英語で説明することができる。 2. 医療分野の英語用語(看護師や医療従事者が使用する言葉・フレーズ)と日常で使用する英語用語(言葉・フレーズ)を使用することで、英語と日本語の表現方法の相違や多様な価値観について学び、グループ・ディスカッションをすることができる。											
成績評価方法 (基準)	毎回の授業課題提出(90%) レポート課題(10%) ※レポート課題については、ルーブリックを用いて評価する。											
再試験の有無と 基準等	・無：各回の授業課題、およびレポート課題によって評価するため、再試は不可能。											
教科書	<i>English Guidebook for Mikanese Students</i> [三看大生のための英語ガイドブック] (PDFファイル・ワークシートをTeamsにて配布する)											
参考書等	授業中に適宜紹介する。											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と 学生への期待	医療英語の力(聞く・読む・話す・書く力)やコミュニケーションに必要な英語力をバランスよく身に付けながら、多言語多文化共生社会における看護師・医療従事者とはどうあるべきかを考察する。また、チーム基盤型学習(TBL: Team Based Learning)やSNA(ソーシャル・ネットワーキング・アプローチ)を取り入れ授業を進めるので、チームのメンバーとして責任を持って積極的に自らの意見を発言し、グループ・ディスカッションや毎回の課題に取り組むこと。											
備考	英語語彙力・コミュニケーション能力向上のため、シャドーイング及びディクテーションを推奨する。課外学習として、担当教員研究室に設置の英語視聴覚教材(貸出可)を聴いたり鑑賞し、聴き取れた英単語やフレーズ、英語で感想文を記述・提出すると、エキストラ・ポイントとして成績評価に加算する(回数制限無し)。詳細は1回目授業にて説明する。何回かの授業でネイティブの学外協力者の話を聴く場合もある。											
回	学習項目			学習内容				主担当 教員	授業 方法			
1回	イントロダクション			授業の進め方、教科書、欠席の扱い、成績評価に関する説明をする。チーム(グループ)を決め、チーム・ワーク(グループ・ディスカッション)の方法を説明する。「備考」欄に記載した課外学習についても説明する。英語視聴覚教材を鑑賞し、チーム・メンバーとディスカッションする。				ドライ デ ン	講義 演習			
2回	英語視聴覚教材(1)			英語視聴覚教材(1)を鑑賞し、教科書のフレーズを使用して自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。				ドライ デ ン	講義 演習			
3回	英語視聴覚教材(2)			英語視聴覚教材(2)を鑑賞し、教科書のフレーズを使用して自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。				ドライ デ ン	講義 演習			
4回	英語視聴覚教材(3)			英語視聴覚教材(3)を鑑賞し、教科書のフレーズを使用して自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。				ドライ デ ン	講義 演習			
5回	英語視聴覚教材(4)			英語視聴覚教材(4)を鑑賞し、教科書のフレーズを使用して自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。				ドライ デ ン	講義 演習			
6回	英語視聴覚教材(5)			英語視聴覚教材(5)を鑑賞し、教科書のフレーズを使用して自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。				ドライ デ ン	講義 演習			
7回	英語視聴覚教材(6)			英語視聴覚教材(6)を鑑賞し、教科書のフレーズを使用して自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。				ドライ デ ン	講義 演習			
8回	英語視聴覚教材(7)			英語視聴覚教材(7)を鑑賞し、教科書のフレーズを使用して自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。				ドライ デ ン	講義 演習			
9回	英語視聴覚教材(8)			英語視聴覚教材(8)を鑑賞し、教科書のフレーズを使用して自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。				ドライ デ ン	講義 演習			
10回	英語視聴覚教材(9)			英語視聴覚教材(9)を鑑賞し、教科書のフレーズを使用して自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。				ドライ デ ン	講義 演習			
11回	英語視聴覚教材(10)			英語視聴覚教材(10)を鑑賞し、教科書のフレーズを使用して自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。				ドライ デ ン	講義 演習			
12回	英語視聴覚教材(11)			英語視聴覚教材(11)を鑑賞し、教科書のフレーズを使用して自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。				ドライ デ ン	講義 演習			

13回	英語視聴覚教材（12）	英語視聴覚教材（12）を鑑賞し、教科書のフレーズを使用して自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。	ドライデン	講義 演習
14回	英語視聴覚教材（13）	英語視聴覚教材（13）を鑑賞し、教科書のフレーズを使用して自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。	ドライデン	講義 演習
15回	英語視聴覚教材（14）	英語視聴覚教材（14）を鑑賞し、教科書のフレーズを使用して自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。	ドライデン/ 学外協力者	講義 演習

学 習 課 題

1～15回事前課題：教科書のフレーズ内容を毎回授業前に学習しておく。

1～15回事後課題：教科書や授業で学んだこと、及びチーム・メンバーとグループでディスカッションした内容を思い出し、自らの意見や考えをまとめておく。尚、15回目及びレポート課題（配点100点）は、Teamsの「課題」に設定された期日までに提出する。

実務経験を活かした教育の取組